

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和08年01月26日

計画の名称	緑豊かな住環境と都市景観の向上(第2期)														
計画の期間	令和04年度 ～ 令和08年度 (5年間)											重点配分対象の該当			
交付対象	北本市														
計画の目標	大目標：潤いと安らぎを与える空間を形成し、快適で魅力のある住環境を形成する。														
	目標1：公園や緑地等、緑の豊かさを活かしたまちづくりを推進する。														
	目標2：美しい街並みを形成するため、公園及び中山道の景観に配慮し、魅力的な公共空間を形成する。														
	目標3：北本市公園施設長寿命化計画に則り、老朽化した施設の計画的な改修を推進することにより、人々が安全で安心して生活できる街づくりを推進する。														
	目標4：北本中央緑地の整備を進め、人口当たりの都市公園面積を増加させる。														
	目標5：北本中央緑地の整備推進により、安全で安らげる空間・住環境を形成する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		407	A	407	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R4当初)	(R6末)	(R8末)
1	人口100人当たり都市公園面積を643㎡(R4当初)から655㎡(R8末)に向上。			
	市内の都市公園面積(県営除く)を人口100人当たりに換算する。 (人口100人当たり都市公園面積) = (総公園面積(県営除く)) / (総人口 / 100)	643㎡	650㎡	655㎡
2	対象都市公園施設の改築・更新達成率を0%(R4当初)から100%(R8末)に向上。			
	計画対象施設10施設の改築・更新達成率。 (対象施設改築・更新達成率) = (改築・更新済み施設数) / (対象公園施設数) × 100	0%	60%	100%
3	安全で安らげる空間・住環境の形成ができていると思う市民の割合を59%(R4当初)から63%(R8末)に向上。			
	市民意識調査アンケートにおいて「安全で安らげる空間・住環境」となるような土地利用や開発ができているかの質問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合。(無回答除く)	59%	61%	63%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	北本市	直接	北本市	-	-	グリーンインフラ都市構築支援事業	北本中央緑地周辺地域における公園緑地の整備	北本市						199		-
		グリーンインフラ都市構築事業(199百万円)																	
	A12-002	公園	一般	北本市	直接	北本市	-	-	北本市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策(北本総合公園等3公園における遊戯施設等の改修)	北本市						168		策定済
		長寿命化対策(168百万円)																	
											小計						367		
住環境整備事業	A16-003	住宅	一般	北本市	直接	北本市	-	-	中山道間の宿地区街なみ環境整備事業	整備面積：19.2ha	北本市						40		-
		街なみ環境整備事業(40百万円)																	
											小計						40		
												合計						407	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	10	47	22		
計画別流用増 減額 (b)	0	2	0		
交付額 (c=a+b)	10	49	22		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	44		
支払済額 (e)	10	5	66		
翌年度繰越額 (f)	0	44	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

